

Be Smileプロジェクト

同プロジェクトの内容については、決定次第、随時、市公式ウェブサイトや市フェイスブックなどでお知らせします。

ガバメントクラウドファンディング

▶募集期限 10月30日(金)

▶応援方法 ふるさと納税総合サイトふるさとチョイス (<https://www.furusato-tax.jp/gcf/981>) をご利用ください



※直接、登別市役所で申し込むこともできます。

※詳しくは、問い合わせください。

▶問い合わせ 企画調整グループ (☎⁰¹¹1122)

子どもたちの笑顔のために

Be Smileプロジェクト

7/31

市制施行50周年を記念した新たな取り組み『Be Smileプロジェクト』(市・登別市市制施行50周年記念事業市民実行委員会主催)が開始しました。同プロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の影響により、思い出づくりの場が少なくなってきた子どもたちに、いつもとは違う特別な体験などを通して、素敵な思い出をつくってもらおうと取り組んでいるものです。

プロジェクトの内容を考えるのは、市内の高校生。高校2年生が中心となって、卒業する先輩や同じ地域の幼児、小・中学生のために、どんなことをしたら笑顔があふれるかを一生懸命考え、そのアイデアを参考に、地域の大人たちが、一丸となって実現します。

イベントの実施時期は、10月〜令和3年1月を予定しており、市は、同プロジェクトを進めるに当たって、ふるさと納税型のクラウドファンディング『ガバメントクラウドファンディング』を7月31日(金)から開始しています。子どもたちの笑顔のため、多くの皆さんからの温かい支援をお待ちしています。

家族との特別な思い出

登別市市制施行50周年記念

Be Smile Noboribetsu

チャリティードライブインシアター

8/8

8月8日(土)、登別伊達時代村駐車場で、車の中から巨大なスクリーンに映し出された映画を観賞するドライブインシアターが開催されました。

新型コロナウイルスの影響で、わずか9日間の夏休みとなってしまった市内の小・中学生に素敵な思い出をつくってもらおうと同実行委員会により開催された同イベント。荒天により、2日間の予定が1日になりましたが、車の中では思い思いに映画を楽しむ多くの家族の姿がありました。



▲目の前に広がる大画面の映像と車のラジオから流れてくる音声で楽しんだ『ドライブインシアター』

同事業は、9月から10月にかけて、各中学校区ごとに限定開催される『鬼火花』と共に、市が取り組む『Be Smileプロジェクト』の一環として行われました。



▲抽選で決まった番号のナンバープレートを手にした市民



8月3日(月)からは、一般交付が始まっています。皆さんもプレートをつけて、登別をアピールしませんか。

7月30日(木)、市は、『ご当地ナンバープレート』の交付式を開催しました。『ご当地ナンバープレート』は、地獄の谷の鬼火花をデザインした原動機付自転車用ナンバープレートで、登別市市制施行50周年を記念して製作したものです。交付式では、2人の市民が代表してピカピカのナンバープレートを受け取りました。その一人、勝間広靖さんは『素敵なデザイン。いっぱい走って登別市をアピールしたいです』と笑顔で話してくれました。

記念のナンバープレートでPR

登別市市制施行50周年記念 ご当地ナンバープレート交付式

7/30